

議事要旨(2) リース会計 今後の議論の方向性について

リース会計の今後の議論の方向性に関して、事務局より以下の 3 点が提案され、審議された。

1. リース事業協会より継続して検討したいとの申し入れがあったが、会計面だけの検討であれば当委員会で行うべき事項であり、同協会に対しては検討の依頼を行わないこと。
2. 売買処理と賃貸借処理を選択できる現行のリース会計基準を存続、維持することが最も望ましいとする、リース事業協会の主張については、同意できないこと。
3. 現行基準の原則法（売買取引に準じた取引）に一本化することを念頭において審議することかどうか。

これにつき、審議の結果、上記 1 及び 2 に関しては、了解され、現行の賃貸借処理は廃止することでコンセンサスが得られたが、3 に関しては、なお少数の慎重論があったため、再度審議することが確認された。

以 上